

学年 中学校3年生
 テーマ 社会貢献
 主な学習形態 個人

単元名
 自分の好きなこと・得意なことで、生活や社会の問題を解決しよう

本質的な問い
 より良い社会を築くために、私がこれからできることは何か？

単元で解決を目指す生活・社会の問題
 高齢化、人口減少、見えない壁など

社会参画：PBL

探究的な学びを通して得られた知見を生かして、生活や社会の問題解決を目的とした個人探究に取り組む。

手立て：自己表現（自己を認識し、自分の人生を選択し、表現する）
 自己表現をする際に、個人探究まとめスライドを活用する。

個人探究を進めながら、交流会用のまとめスライドを作成する。

＜まとめ・表現＞③・⑦・⑩
 学習を振り返り、自他の成長を自覚し、今後の学習や生活に生かすために、交流会を実施する。
 手立て：振り返りの視点の提示
 個人探究の取組による成長を自覚するために、資質・能力の変容を確認する。

＜課題の設定、情報の収集、整理・分析＞①
 探究の過程を見直し、これからの人生での社会貢献をより良いものにするために、生活や職業で取り組む新たな課題を設定する。

探究交流会

＜課題の設定＞④・⑨
 問題解決の方法や手順を考え、探究計画を立案する。
 運用：探究計画の立案
 探究のゴールや解決の手順について担当教員と共に一緒に考えたり、お互いの計画を参照したりしながら成果物作成・企画実施、検証までの計画を立てる。

個人探究

＜まとめ・表現＞②・⑨
 相手や目的に応じた、探究の成果物を作成したり、企画を実施したりする。
 運用：課題が解決できたかどうかの検証
 企画や成果物の評価を行い、目標を達成できたかどうか検証して、その要因を分析することを通して、新たな課題の設定につなげる。

＜情報の収集＞⑤・⑨
 課題を解決するために、必要な情報を収集する。

目指す姿・学習形態の発表

＜課題の設定＞⑧
 自分の好きなこと・得意なことは、「どんなことが、どこまでできるのか」確認する体験活動を実施し、社会貢献の方法を決める。
 手立て：自己認識の視覚化
 キャリアログ等を見返し、好きなこと・得意なことをウェビング図にまとめさせる。

問題の焦点化

＜まとめ・表現＞
 探究テーマ「問題×方法」を設定する。

＜情報の収集＞
 自分の好きなこと・得意なことを生かして解決する生活や社会の問題を設定するために、アンケート・インターネットから情報を集める。

＜整理・分析＞
 解決する生活や社会の問題を設定するために、収集した情報から問題を解決できる範囲に焦点化する。
 自己課題：問題の焦点化
 問題の中から、自分の好きなこと・得意なこと生かして解決できる問題を限定する。

＜整理・分析＞⑥・⑨
 課題を解決するために、異なる情報を比較したり関連付けたりして、課題の解決方法に確かな理由や根拠をもつ。
 手立て：個人ゼミでのファシリテート
 確かな理由や根拠を持って、課題を解決するために、探究の筋道をゴールから逆算して、どんな情報を集めて、どう整理・分析するか、生徒から引き出す。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>【①知識】生活や社会に広がっている複雑な問題の現状について理解している。</p> <p>【②技能】自分の好きなこと・得意なことを生かして、自分が設定した目標に応じた成果物を作成している。</p> <p>【③探究的な学習のよさの理解】生活や社会問題の解決が、今後の自分自身の生き方に深く関わっていることを理解している。</p>	<p>【④課題の設定】解決の方法や手順を考え、確かな見通しをもって計画を立てている。</p> <p>【⑤情報の収集】課題の解決に必要な情報を効率的に収集する手段を選択している。</p> <p>【⑥整理・分析】収集した情報を比較したり、関連付けたりして、課題の解決方法に確かな理由や根拠を持っている。</p> <p>【⑦まとめ・表現】交流会を目的に、整理した結果や自分の考えを同級生に効果的に表現している。</p>	<p>【⑧自己理解・他者理解】自分の生活を見直し、自分の特徴やよさを理解しようとし、異なる他者の考えを受け入れようとしている。</p> <p>【⑨主体性・協働性】自分の意思で目標に向かって、課題の解決に取り組もうとし、自他の良さを生かしながら協力して問題の解決に取り組もうとしている。</p> <p>【⑩将来展望・社会参画】生活や社会の問題を解決する中で、自己の生き方を考え、自分で解決できることを新しく見つけようとしている。</p>